

1. 授業の概要

本講義の目的は2つである。

1つは法学の基本的知識の習得である。そして、いま1つは、社会で起きている様々な事象・問題を主体的に考えることを習慣化することである。本講義では、前者もさることながら、後者に力点をおく。

社会で実際起こっている課題を現実即していかに克服するかを考えいくことは、教育現場で生じている多様な問題に対処する訓練にもつながるはずである。本講義では、教育現場で生じている法律学上の問題を取り上げ検討する

授業のスケジュールは、以上の通りであった。

第01回 ガイダンス

第02回 教育現場と憲法①憲法と社会の関わりについて

第03回 教育現場と憲法②校則と人権

第04回 教育現場と憲法③君が代と思想・良心の自由

第05回 教育現場と憲法④学校と信教の自由について

第06回 教育現場と憲法⑤教科書裁判

第07回 教育現場と憲法⑥教育を受ける権利と国際人権

第08回 教育現場と民法①民法と社会の関わりについて

第09回 教育現場と民法②いじめと民事責任について

第10回 教育現場と民法③体罰と民事責任について

第11回 教育現場と刑法①刑法と社会の関わりについて

第12回 教育現場と刑法②犯罪の成立要件について

第13回 教育現場と刑法③体罰と刑事責任について

第14回 教育現場と刑法④いじめと刑事責任について

第15回 まとめ

2. 授業評価の方法

成績はレポート試験による。場合によっては出席点およびディスカッションに対する貢献も考慮する。評価割合：レポート試験 90%、授業に対する貢献 10%。尚、本年度は課題を提示し、私が添削させていただき、可能な限り受講生と双方向の授業を行った。

3. 授業アンケートの結果

○難しい文章に苦労しましたが、大変勉強になり

ました。

○今回は遠隔授業でしたが、自分で課題に取り組むという授業の形でしたが、君が代の事案について自分なり考えて、文章にまとめることができました。

○文章をただ読み解くだけでなく、文章の行間を読むということについてとくに学べたと思います。

○実事例を通して、多くの法律や制度、考え方について学べました。かなり、苦戦しましたが、一生懸命取り組むことができました。

○毎回の先生による課題の添削やコメントは非常に勉強になりました。

○先生の詳しい解説でだいぶ理解できるようになった。その読み方を教えてもらえてよかったと思う。

○判例の読み方が、先生のコメントを通じて、わかりました。

○毎回、詳細なコメント、フィードバックが良かったです。また、非同期遠隔だったので、他の授業との重なりもなく、助かりました。